



AIによる経過記録の見落とし予防とアセスメント

人工知能(AI)により、経過記録を処理することで、アセスメント時のリスクの見落としを減らすと同時に、リスクアセスメントシートの作成・共有・管理を支援します。

言語系AIによる3つの機能(①~③)により、リスクアセスメントの以下のような悩みを軽減します。

- 1) ケースが長期化すると、経過記録が長くなり、担当者以外は詳細が分からなくなる。
- 2) 長期のケースでは記憶に頼ってしまう。漏れが重大事件につながらないか心配。
- 3) 管理者は、部下が行う多数のアセスメント結果の詳細を、チェックしきれていない。
- 4) システムが無く、経過記録や過去のアセスメント結果が共有できていない。
- 5) 経験豊富な職員が少なく、迷った時に、参考にできるものが少ない。
- 6) 過去に似た事例があっても、すぐに探せないため、過去の事例が活かされていない。



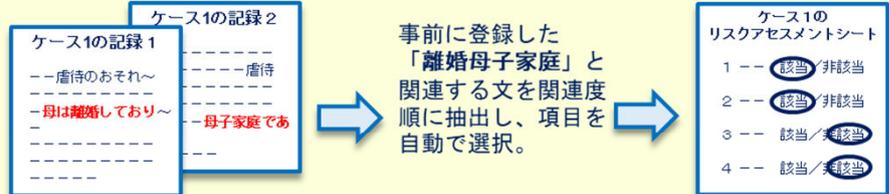
① 経過記録の要約と不足情報を確認
ユーザーが入力した経過記録に、重要な情報が不足していないかをチェック

課題1)2)3)に対応



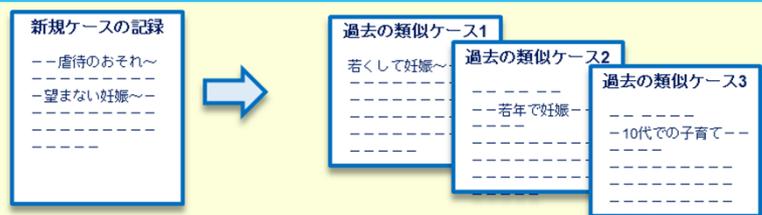
② リスクアセスメント
経過記録からリスクアセスメント項目と関連した文を抽出し、リスクアセスメントシート作成を支援

課題2)3)4)に対応



③ 類似事例の抽出(オプション)
経過記録が類似するケースを提示

課題5)6)に対応



リスクアセスメント結果の管理機能

過去のリスクアセスメント結果を一覧表示し管理できます。入力した経過記録もバックアップ保存可能。

🔄 処理結果/データの切替

選択	児童ID▼	氏名▼	ステータス	詳細
<input checked="" type="radio"/>	E0007	山田太郎	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクアセスメントシートAI結果 (2024/08/20) ● 関連文 (2024/08/20) ● リスクアセスメントシートAI結果 (2024/06/18) ● 関連文 (2024/06/18) ● リスクアセスメントシートAI結果 (2024/04/25) 	
<input type="radio"/>	E0010	鈴木花子	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクアセスメントシートAI結果 (2024/07/18) ● 関連文 (2024/07/18) 	

